

第3学年郷土学実践事例

単元名

文化財としてのお寺

単元目標

- ①地域の歴史に触れ、学習を行うことで、郷土に対する関心を高める。
- ②学区内にある寺社に触れ、学習を行うことで、自分が住む高月町に愛着を持つ。
- ③仲間と協力・共同して学習を進める。

単元について



古くから信仰が根付いている湖北地方には、豊かな仏教文化が存在している。

中でも、本校が学区を有する高月町には、国宝十一面観音像を所蔵する渡岸寺をはじめ、歴史ある寺院が多数ある。

これらに触れる機会を郷土学の中で持ち、学習を通して、地域に対する関心や愛着を高めていきたい。

単元計画

- ① 校区内散策
- ② 振り返り
- ③ 調べ学習
- ④ 新聞製作
- ⑤ 発表会

単元の流れ

週	学習内容	学習活動	教師の支援・児童の様子
①	・校区内散策	・グループで校区内を散策し、実際にお寺や神社を見学する。	(児) 地域のお寺について、クイズ形式で学んだ。興味・関心を持って取り組んでいた。 (教) 寺社の歴史や文化について、簡単な説明を行う。
		・堀さんのお話をきき、校区内散策を振り返る。	(児) クイズについての解説をきき、校区内散策で学んだことを深める。 (教) 静かにさせる。
②	・教室での振り返り	・校区内散策で触れた事柄（渡岸寺、落川浄光寺、高槻神社、森本神社）について、教師の解説をきく。	(児) 提示された資料を見て、関心を示していた。特に渡岸寺の十一面観音像については、あらかじめ知識を有している者も多かった。 (教) 資料を用意し、各々の事柄に簡単な解説を加える。
	・興味を持った事柄について、学校や家庭で調べる。	・学校図書館やインターネットを利用してまとめる。お家のおじいさん／おばあさんに話をきいてプリントにまとめる。	(教) プリントを用意する。ある程度は資料を用意する。 (児) 調べ学習を期日内に行う。
③	・新聞作りの計画を立てる	・興味を持った事柄について、グループで話し合い、どのような新聞を作りたいのかを考える。	(教) 話し合いが円滑に進むようにアドバイスをする。 (児) グループで話し合う。
④	・新聞作りに向けて、資料を補強する。	・グループの新聞の方向／個人の興味に合わせて、自分が探求したい内容に沿った資料を探す。	(教) 学校図書館にある資料を提示する。インターネット資料を印刷したものを配る。
	・新聞を作成する。	・グループで協力して新聞を作成する。	(教) 新聞のデザイン等について、アドバイスをする。 (児) 班のメンバーと協力し合い、新聞を作成する。
⑤	・発表会に向けて練習する。	・グループで、発表会に向けた練習を行う。	(教) 礼の仕方／発表の方法／発表の内容について、適切な助言を行う。 (児) 発表の練習をする。はじめのあいさつなど、最初のうち、しっかりとできなかった。
⑥	・発表会。	・学習参観日に発表会を開催する。	

授業の観点

- ①郷土の文化財について、興味・関心を持っているか。
- ②高月町の寺社について、自ら探求したい事柄を見つけ、学習に取り組んでいるか。
- ③仲間と協力・共同し、学習活動に取り組んでいるか。

子どもの変容・指導の成果

学習以前、身近な文化財についての子どもたちの認識といえば、何となく知っている、という程度のものであった。自分たちで調べ学習を行ったことで、それらは、私たちの住む地域には素晴らしいものがある、という思いに昇華されたようだ。

特に渡岸寺の十一面観音像については、調べるうち、興味が深まっていったようである。全国的に有名な文化財であることがその大きな原因と思われるが、観音像の姿について、「優しそうな顔だ」「何かすごい」などの言葉もきかれた。子どもたちなりに、地域の文化財の厳かな佇まいに鮮烈な印象を持ったようである。

課題

- ・中学年が読みこなせるような資料が少ないこと。結果として、新聞の内容が、同じようなものばかりになってしまった。
- ・渡岸寺以外の寺社の資料が少ないこと。

外部講師・地域連携

堀順子さん（地域の歴史に詳しい方）
 渡岸寺、浄光寺、森本神社、高槻神社（見学先）